



webメディア・雑誌・書籍

編集者、ライターのごと全般を基礎から学ぶ初心者のためのコース
出版社や制作会社への就・転職、または取材ライター志望者向け。

編集者・ライター養成基礎コース

土曜昼クラス ▶ 6月9日（土）開講

▶土曜昼クラス 13:00～15:00 全20回

講義日：6/9, 16, 23, 30, 7/21, 28, 8/4, 9/1, 9/29, 10/13, 27, 11/10, 17, 2019年12/1, 15, 1/19, 26, 2/2,
+特別講義2コマ

いざ仕事になったとき、

webメディアや雑誌、書籍の仕事の現場では、どういう人たちとどういう関わりのもとに仕事をするのか
そして、どんな場面でどんなことをしなければならぬのか……。このコースを受ければわかります。

編集者やライターは「伝える」のが仕事。世の中のできごとや現象、家電製品・デジタル機器、話題の人物の考えなど、取り上げるものは
様々です。本コースでは、テーマがなんでもあれ、「それをカタチにする＝オーダーに応える」力を養います。

「読者を想定する」「メディアの特性を踏まえる」「企画にする」「ビジュアルをイメージする」「リサーチ・取材する」「書く」
上記6点の習得を中心にカリキュラムを構成。

こんな方に オススメです

- ▶ 出版社や制作会社へ就・転職をしたい方
- ▶ これからライターの仕事を始めたい方
- ▶ 会社の仕事や子育てと書く仕事を両立させたい方
- ▶ 編集やライターの仕事内容を知りたい方
- ▶ webや雑誌でライターの仕事を広げたい方
- ▶ 企業のメディア担当者
- ▶ メディアを立ち上げたい方

習得 できます！

- ▶ web媒体・紙媒体の制作現場はどうなっているのか
- ▶ 編集者、ライターの仕事内容
- ▶ メディアでの企画の立て方
- ▶ インタビューの仕方
- ▶ 取材リサーチの仕方
- ▶ 記事の書き方
- ▶ 就職を成功させる方法 売り込みの仕方

受講料

〔一括〕
合計 152,000 円 (税込)
入学金 10,000 円
授業料 132,000 円
資料代 10,000 円

- ★一括の場合はカード支払い可。
(VISAかMASTERのみ)
- ★教育ローンもご利用いただけます。
- ★当校や姉妹校の修了生は入学金不要。

<申込方法>

編集の学校のサイトから web 申し込み、
またはメールでお知らせください。

<http://www.editorschool.jp>
info@editorschool.jp

<受講料振込先>

みずほ銀行 渋谷支店 普通 3112431 ヘンシュウノガッコウ



編集者・ライター養成 基礎コース 【カリキュラム (全 20 回)】



土曜クラス 13:00 ~ 15:00 開講日 6/9

●第1回 「編集者・ライターの仕事／出版のプロセス」

媒体が完成する過程を追うことで仕事の全容をみていきます。タイトル、リード、キャプションなどの紙・誌・画面を構成する要素の名称と役割も解説。

●第2回 「紙・web—記事はどう書くのか」

特色も読者層も異なるメディアの記事を読み比べながら、“媒体の特性・読者層・テーマ”という関係の中で、どう記事をつくっていくのかを分析。原稿作成の基本をマスターします。

●第3回 「取材の手法・ダンドリ術」

web、雑誌、書籍の原稿は、取材して集めた情報をもとに書くのが一般的。十分な取材がよい原稿をつくります。取材のやり方を具体的に解説。取材依頼書のつくり方、役立つネタの仕入れ方、取材先でのハプニングへの対応法も公開。

課題—取材プラン・記事構成作成

●第4回 「インタビュー実習 1」

インタビューの依頼の仕方、インタビューイーに関する情報の集め方、質問項目のつくり方、記事のまとめ方など具体的方法論を講義。

●第5回 「書籍編集者の仕事／企画力をつけるための工夫」

ヒット本を多く手掛ける講師が、企画をたてる際の独自の工夫やリサーチ法を公開。また、著者はどう見つけてくるか、売れる本にするための仕掛けなどにも言及。

●第6回 「編集と印刷をつなぐもの」

1冊の雑誌や書籍が印刷物として完成するまでの流れを講義。実物のレイアウト、ゲラ、色校紙などを教材に、入稿、校正、色校、校了のプロセスをたどり、編集者、ライターの果たす役割を学びます。

●第7回 「取材プランをたてる 記事構成講評」

構成案を講評します。テーマについて質・量ともに十分な取材ができているかを検証。構成のつくり方、視点や切り口について一人ひとりアドバイスします。

課題—原稿作成

●第8回 「インタビュー実習 2」

ゲストを招き全員でインタビューをおこないます。課題—記事作成

●第9回 「書籍の企画と構成」

書籍と雑誌やwebの企画のたて方の違いを解説。採用されやすいものは？ 話題性のあるネタの掘り方から一歩先を見据えたヒットする企画のたて方まで講義。

課題—企画立案

●第10回 「書籍企画講評」

企画講評

●第11回 「“出版社の事情最前線” 出版社が求める人材とは」

出版社が作るものは、紙に限らず、webマガジン、電子書籍、モバイルコンテンツと様々な従来とはビジネスモデルが変わり、出版社が求める人材も変化してきました。現在の出版社事情をお伝えします。

●第12回 「web・雑誌の企画と構成」

内容や誌面の構成は、どうやって決まるのか。企画をたてる際に欠かせない留意点や誌・画面におとしこむ方法をおさえます。

課題—企画立案とラフ作成

●第13回 「Webメディアとオウンドメディアの時代 ギャラのいい仕事をするには？」

今は、メディアは出版社や新聞社などの大手マスコミだけでなく、企業や個人が発行する時代です。雑誌の休刊が増える一方で、webメディアの数は上昇。webでは、書き手もコンテンツも不足。新人ライターのデビューの場として注目を集めています。

●第14回 「web編集者・ライターの仕事とは？ ／紙媒体との違い」

編集者、ライター志望者の活躍の場はwebに広がっています。求められる能力やワークフローのちがいを、紙媒体とweb媒体を比較しながら学びます。

●第15回 「媒体特定原稿の書き方」

原稿講評。『日経ウーマン』『日経ウーマンオンライン』『日経トレンドネット』『週刊SPA!』など具体的に媒体を定めて、媒体の特性や読者層などを細かく分析。テーマが絞れているか、“出だし”はどうか、“締め”はうまくまとまっているかなど、よりよい文章にするための指導を個別に実施。課題—リライト

●第16回 「インタビュー実習 3」

インタビュー原稿の講評

●第17回 「企画講評」

自分の企画をデスクやデザイナー、ライターに伝えることも編集者の大切な仕事のひとつです。本講義では編集会議を実施。一人ひとり企画をプレゼンし、講師が講評します。

●第18回 「紙媒体・web媒体書き分け／リライト講評」

講義で指摘された点を理解し、原稿に反映できたかを確認。個別に講評。webと紙媒体の文章の書き方は全く違います。その違いを理解し書き分けができたかも確認。“どう書いたらいいか”を理解し、リライトをくり返せば文章はどんどんよくなります。

* 講義の順番は変更が出る場合があります。

スケジュールは受講申し込みの方に別途お送りします。

◆特別講義 選択制 (2コマまでは受講料の範囲内で受講が可能。3つ目からは1講義につき3,000円の聴講料がかかります)

▶「スタジオ撮影実習」

タレント、ファッション等の撮影が多い松濤スタジオで講義。大型の撮影スタジオを見学しながら、撮影のダンドリを学びます。撮影体験も。

▶「ロケ取材を成功させる方法」

カフェなどの飲食店、街中でのファッションスナップなど、スタジオ以外でおこなう撮影での編集者、ライターの役割を解説。

▶「就職の技術」

大手出版社の採用担当者による講義。新卒・既卒で就・転職する際の留意点。フリーランスで仕事をはじめるきっかけの掘り方、広げ方。

▶「出版、web業界で活躍する修了生セミナー」

出版社への就・転職、ライターに。書籍編集者、webディレクター、雑誌編集者など、さまざまな分野で活躍する修了生が、現職に至るまでの経緯を語ります。

□講師

秋尾弘史 (扶桑社)
和田守弘 (小学館)
田中伊織 (集英社インターナショナル)
岡本真一 (KADOKAWA)
杉浦博道 (ソフトバンククリエイティブ)

熊谷あづさ (ライター)
藤原章次 (藤原印刷)
田村知子 (エディター&ライター)
佐藤和恵 (フォトグラファー)
他、webディレクター、企業web担当者等。